

報道関係各位

2012年9月
DAS株式会社
株式会社Arinos
株式会社ブリリアントサービス



話題のNFCを地域活性化活動に初めて採用！ 「街コンアプリ」9月8日濱コンイベントで正式リリース

DAS株式会社(本社:神奈川県横浜市旭区、社長:小川真輔、以下「DAS」という)は、株式会社Arinos(本社:東京都千代田区、社長:古家由也、以下「Arinos」という)、並びに株式会社ブリリアントサービス(本社:大阪市北区、社長:杉本礼彦、以下「ブリリアントサービス」という)と街コンに特化したクラウド型・街コンアプリ(以下、本アプリといふ)を共同開発事業とし開発を手掛け、2012年9月度より本アプリを正式リリース致します。

地域活性化活動のスタイルとして注目を浴びる「街コン」は、複数飲食店を回遊しながら各店舗での男女の新しい出会いを楽しむ参加型の町興しイベントとなっています。主に地域商店街などが主体となって運営され、2011年度下半期に始まり、今や全国都道府県で一斉に広がったこの活動モデルでは、参加者の顧客情報を取り扱う情報管理の不十分という課題や、また、一部の店舗への参加者の偏りによるイベント当日の各店舗の混雑状況の平準化などの課題も存在しています。本アプリではそれらの課題解決を図る為に、二人参加が基本である街コンのリピーター参加者の申込みを安心安全に簡素な申込みにつなげることや、NFC※1の特徴を活かした入退室管理機能ではイベントスタッフが持つ専用アプリをインストールしたスマートフォンで、参加者のICチップ付きリストバンドを非接触でタッチすることで情報を取得し、リアルタイムに全店舗の席数状況の見える化を図ることが可能になります。各店舗の混雑度への対策として、全国各地の事業者では、参加者が行ける店舗を運営サイドで全て指定することによる混雑度の平準化の問題対策を図っている姿が見受けられます。しかしながらこの対策では、自分の行きたい店舗を自らで選択することができるという参加者へのメリットを損ない、食べ歩きイベントならではの特性を活かし切れていないという現状があります。本アプリを採用することで、参加者、事業者、街にとってもメリットの高いイベントモデルとしてその付加価値向上につなげて頂くことが可能と考えております。

今般、三社の事業構想が合致し、街コン業界の今後の新しいイベントモデルの確立に寄与すること目的に本アプリの開発に至りました。今後は本アプリを約10~20事業者を目標に展開し、次世代の街コンのスタイルを確立して参ります。

※1:参考資料2を参照

- 以上 -

<参考資料>

<参考資料1：本アプリの仕様紹介>

・街コンアプリの特徴

街コン運営に特化したWebアプリケーションで、大きく以下、2つの機能をご準備しております。

1. エンドユーザ機能：

イベントに参加をご希望される方向けのマイページによる
プロフィール登録やイベントに二人参加の申込みを行う為の
お友達招待機能やイベントの参加履歴を照会することが
出来る機能等があります。



2. 街コン事業者管理ツール機能：

イベント運営に必要な管理機能を保持しており、イベント管理、
ユーザ(申込者)管理、入退室管理等の機能を有します。



<イベント・ユーザ管理>

- Linuxを中心としたOSSベースのクラウド型の管理機能を実装。

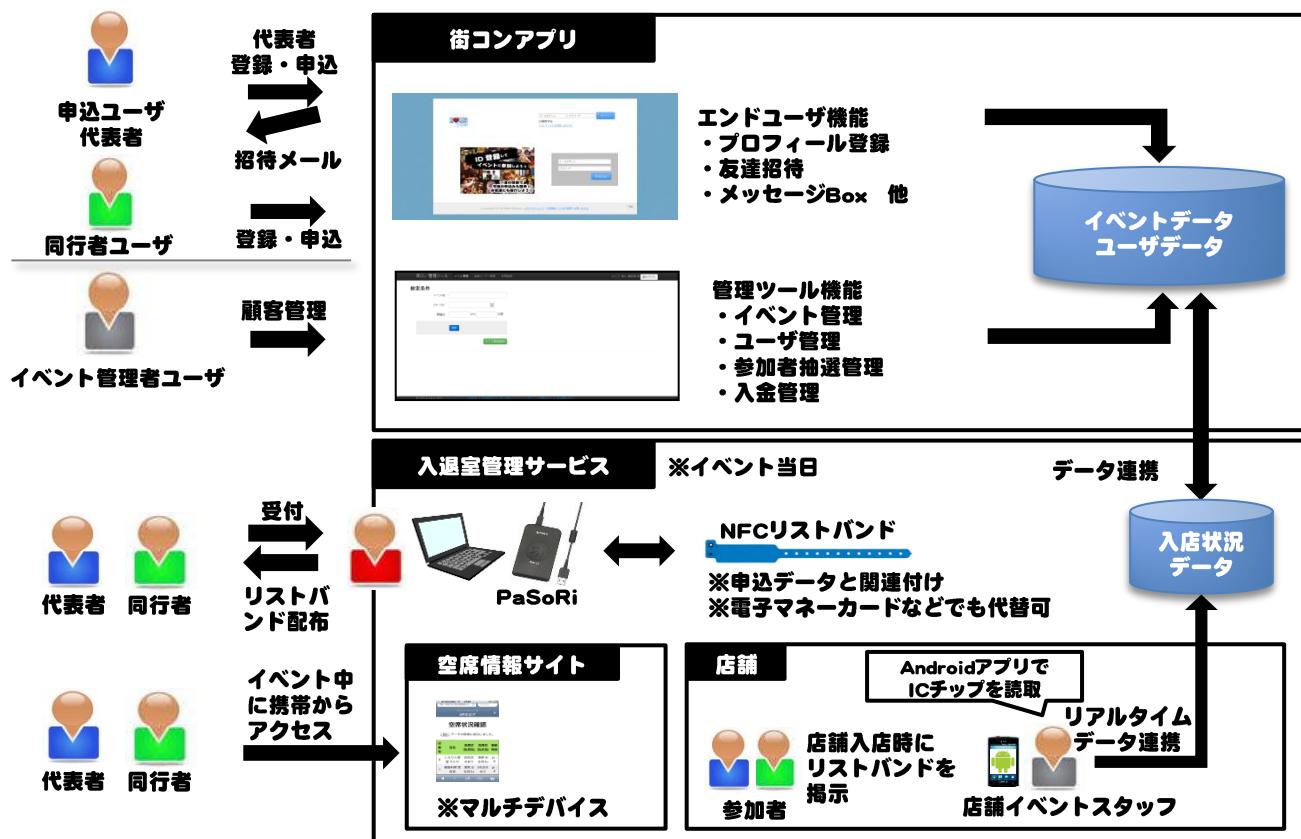
<入退室管理機能>

- AndroidOSをベースとしたスマートフォンリーダーアプリでICチップ情報を読み取り。
- 混雑状況などの参照はマルチデバイスでどのようなデバイスからでもアクセス可能。
- ICタグ付きのリストバンドは、本アプリでは、ソニー株式会社のFeliCa Lite (NFC Forum Type3 Tag) を採用。イベント受付にて、PC用の非接触ICカードリーダー／ライター(PaSoRi)を用いてパソコンで関連付けしたもの
- を配布。リストバンド以外でも電子マネー／交通系ICカードやおサイフケータイ等を入退室管理に実用可能です。



※写真はイメージです。

・街コンアプリの全体概要



<参考資料>

<参考資料2： NFCとNFCタグについて>

NFCは、Near Field Communicationの略称で、13.56MHzの周波数を利用する国際標準規格で定められた通信距離10cm程度の近距離無線通信技術です。非接触ICカードの通信および機器間相互通信が可能で、機器を近づけることで通信を行うため、「かざす」動作をきっかけにした、わかりやすい通信手段として注目を集めています。

ソニー・NXPセミコンダクターズ社(旧フィリップスセミコンダクターズ社)・ノキアの3社が立ち上げた業界標準団体であるNFCフォーラムは、現在170社を超える会員数となり、既存の非接触ICカードとの互換性に鑑みた実装仕様を策定しNFCの普及を推進しています。

NFCフォーラムが定めるNFCデバイスではリーダー／ライターモードの際に4つのタイプのタグを読み書きができるなどを定めています。本アプリでは、このタグの1つであるソニー株式会社のFeliCa Lite (NFC Forum Type3 Tag)を採用しています。

また、濱コンでのNFC利用を発端に、ソニー株式会社と協力し、「NFCチャレンジ！普及促進プログラム」を立上げを行いました。本プログラムは、ソニー株式会社が幹事となりベンチャー企業が、タグ費用の初期負担による障壁でサービス化を断念することなく、有用なアプリケーション・サービスの導入できるようにすることを目的としています。地域活性化イベントの「濱コン」が第一弾認定プロジェクトとなり、今後他のプロジェクトに展開をしていくことで、社会への更なる普及促進を図っていきます。



<参考資料3： 本アプリのリリースイベント>

【濱コン事務局】

街コン先駆者である濱コン事務局(運営企業:DAS)が自主イベントにて本アプリの利用を開始。

【正式リリースイベントの詳細】

イベント名： 第6回濱コン@関内 ※関内まちづくり振興会共催

開催日： 9月8日(土)13:00～14:30(受付時間11:30～12:30)

開催場所： JR関内駅周辺飲食店

募集人数： 男性500名、女性500名(抽選制)

オフィシャルサイト： www.hamacon.jp

※当日取材の際は事前にお問合せ先までご連絡をお願い致します。

<参考資料>

<参考資料4：企業紹介>

・DAS株式会社

街コンの先駆者である横浜地域を中心に活動する「濱コン」の運営母体の企業であり、2011年6月度よりイベントを開始し、その豊富なノウハウから神奈川県藤沢市、山梨県甲府市、兵庫県神戸市と他拠点の各種制作、広告代理、イベントオペレーションと幅広い分野でのイベントコンサルティングを手掛けております。Real Event、Service、Marketing、Mediaと4つのカテゴリからサービス展開を図り、夢を持つ人達へのプラットフォーム型のサービス提供を行っています。

-代表者：代表取締役社長 小川 真輔

-設立：2012年1月11日

-本社：横浜市旭区

-主な事業内容：イベント制作事業、イベントオペレーション事業、広告代理事業、メディア事業 など

-企業サイト：www.das.jpn.com

・株式会社Arinos

インターネットメディア事業をコア事業とし、ソーシャルファンディングサービスの「microbank」や就職活動中の学生と社会人OBをマッチングさせるサービスの「ジョブカレ」などのサービス事業として展開する他、多種多様なウェブ開発を手掛けています。

-代表者：代表取締役社長 古家 由也

-設立：2010年10月1日

-本社：東京都千代田区

-主な事業内容：コンサルティング事業、インターネットメディア事業 など

-企業サイト：www.arinos.co.jp/

・株式会社ブリリアントサービス

「技術と知恵を持って顧客に光り輝くサービスを提供する」「誠意と熱意を持って社員の幸せと夢を追求する」「道義と創意を持って世の中に貢献する」を経営理念とし、特にAndroidやNFCの開発において最先端を行く企業です。

-代表者：代表取締役社長 杉本 礼彦

-設立：2004年11月5日

-本社：大阪市北区

-主な事業内容：Android関連ソフトウェア開発、組み込みソフトウェア開発 など

-企業サイト：<http://www.brilliantservice.co.jp/>

「**本件に関わるお問合せ**」

DAS株式会社

横浜市旭区東希望が丘 146-2-104

MAIL:info@das.jpn.com

TEL:090-8846-5123 (代表 小川)

※AndroidはGoogle Inc. の商標または登録商標です。

※FeiCa、PaSoRiはソニー株式会社の登録商標です。

※FeiCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。

※おサイフケータイは、株式会社NTTドコモの登録商標です。

※記載されている製品名、会社名はそれぞれ各社の商標、または登録商標です。